

# カンレキ・レッドの 若返りアイテム



函館市医師会  
函館市医師会病院

熊谷 研一

今年で60歳の還暦を迎えました。眼も腰も記憶力も大分、衰え気味ですが、気持ち(パッション)だけは老けないようにと、好きなことと仕事のオンとオフのメリハリを付けるようにしております。最近父と義父が鬼籍に入り、葬儀に集まった親類を見ると、髪が白くなったり薄くなったり、腰が曲がったり車椅子に乗ったりというのが多くなってきており、自分もそういう年齢になったのだと実感する反面、老けずに生き生きとしている親類は、仕事にも、趣味にも生き甲斐を持っているからだということがよく分かりました。幸い仕事は嫌ではありませんし、道楽もそれなりに嗜んでおりますのでまだ10年は大丈夫かと…家人に話すと「都合が良いね」と笑われてしまいましたが、確かにアリバイ作りの感拭えませんが…そんな私の趣味の一つのカメラ(銀塩カメラ)に関する蘊蓄にしばし、お付き合いください。



私はその内部で何やら非常に精巧なものが動く物に対してほとんどパラノイアとも言える憧憬を抱いております。乗り物しかりカメラしかりです。還暦＝赤いものを身に着けるという等式に従って、カメラは赤いワンポイントのラインが入ったニコンの銀塩写真機で、昔から憧れでしたが買えなかった夢のようなNikon F一桁シリーズのF3P(プレス向け)を中古で最初に購入。これはほとんど未開封の箱に無記名の保証書が添えられておりました。福沢諭吉さんが十何人か必要でしたが、ミントコンディションで、数十年前の発売時にはアマチュアには購入できなかった物なのでお買い得でしょう。しかも嬉しいこ

とにこの時、知らぬ間に、欲望の底なし沼へと人を導くレトロ(懐古趣味的)ウイルスに感染。その後はF、F2、F4、F5を立て続けに中古で、現行品のF6をも新品で購入。さらに銘玉と言われる旧レンズも次々と揃えちゃいました。FからF3まではゴムではなく、擬革で覆われた金属Bodyの冷やりとした感触が最高で、一日に一度はさすらめと落ち着きません! …はっきり言って危険です! 馬鹿ですよね～。でもウイルスに頭が侵されているので仕方無いのです。購入した中古品はすぐにニコンの修理センターへ、オーバーホールに出し部品があれば交換し、無いものはとりあえずモルトというカメラのミラーボックスなどの遮光、緩衝目的のスポンジを交換しました。ファインダーのプリズムに問題が無ければ、これで寿命が10年以上は伸びることになるわけです。DSL-R(デジタル一眼レフ)カメラを60年近く経っても手にして使いたくなるでしょうか? そして何故ニコンなのか? というと、マニュアルで操作をすれば、FからF6やDSL-Rカメラまで、昔のレンズが装着可能な一貫したレンズマウントを採用しているからなのです。つまり、昔の高級と言われたレンズたちが中古で格安で手に入るわけで、選択肢が広がるわけです。フィルム巻き上げレバーを親指で廻して人差し指でシャッターを切る…良いリハビリになり、FからF6までそれぞれにシャッターの押し味があり、耳を傾けるとその音質もさまざま、これを聞き分けることで耳が遠くなることも無くなると信じております。外へ写真を撮りに出掛けることも良い運動になったりと、体力低下の予防にも効果があることがお分かりでしょう。

還暦の渋い大人が持ってこそ、実に格好が良いと思います。古い銀塩カメラでならスナックのお姉さんも怪しまずに写真を撮らせてくれるという若返りの秘訣のおまけもついてきますよ! …でもライカ・ファンほどではないにしても、すでに恐らくLexus LF-C2 Convertibleの市販モデルが変えてしまうほど投資していることを家人は知りません。国産信奉者ですので、カメラの次は老夫婦が二人で乗るLexusの赤いオープンカーに乗れるように頑張る予定で、老けている暇はオフタイムに関してはあり得ないようですね。